



寒川町雨水管理総合計画（概要版） （令和8年度改訂版）（素案）

令和8年5月

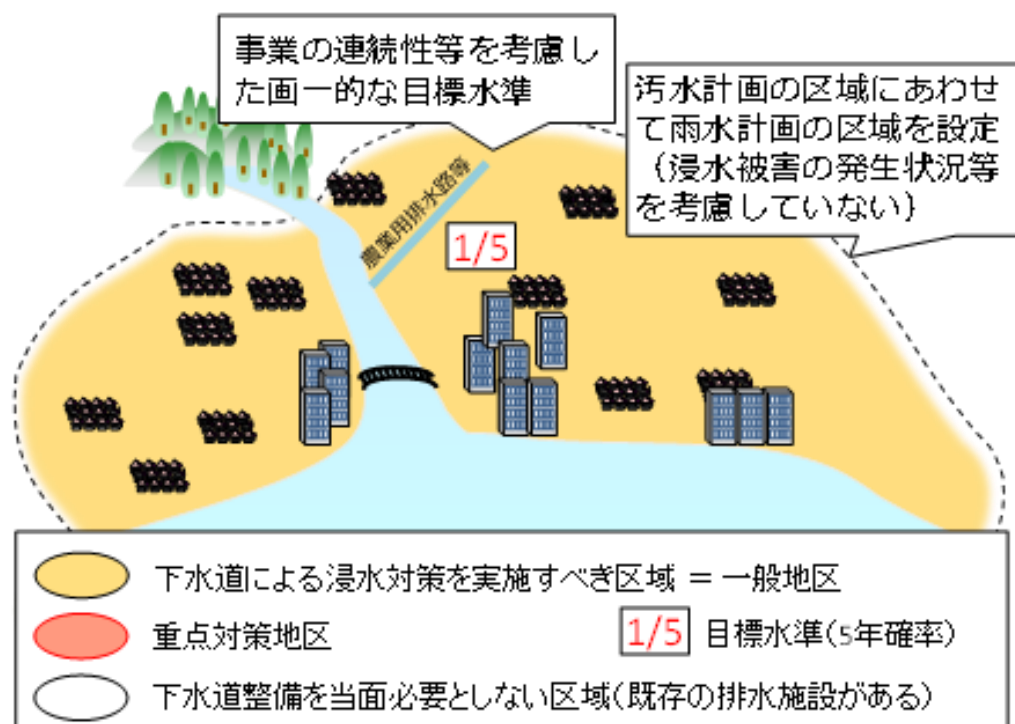


寒川町

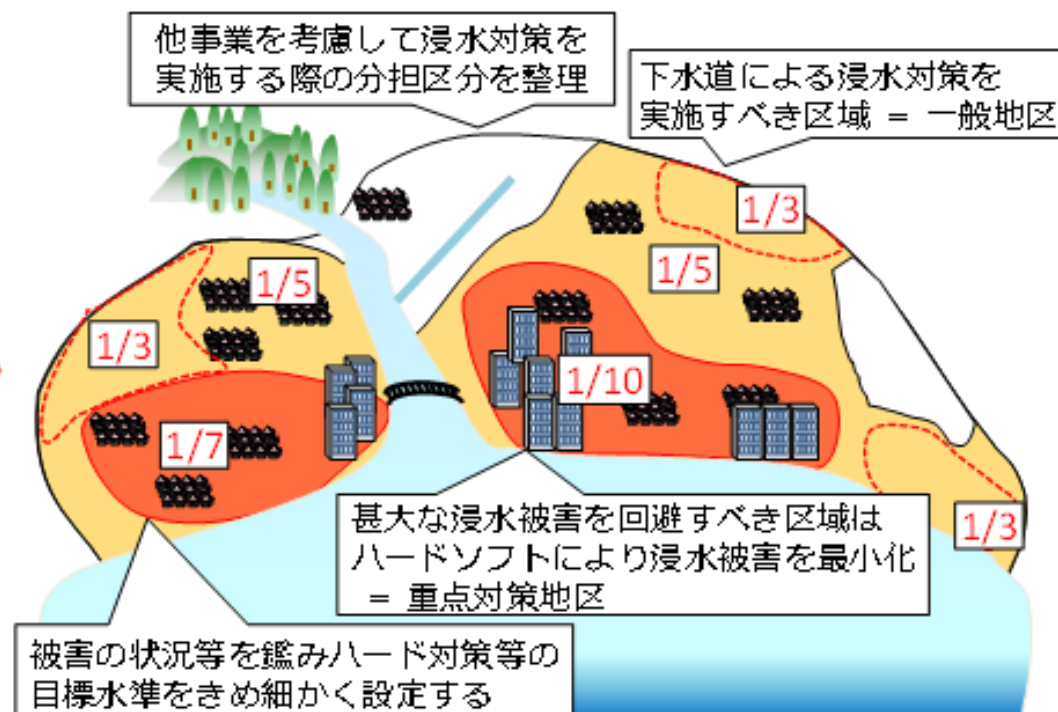
1. 背景と目的

重点対策地区のイメージ

◆これまで



◆これから

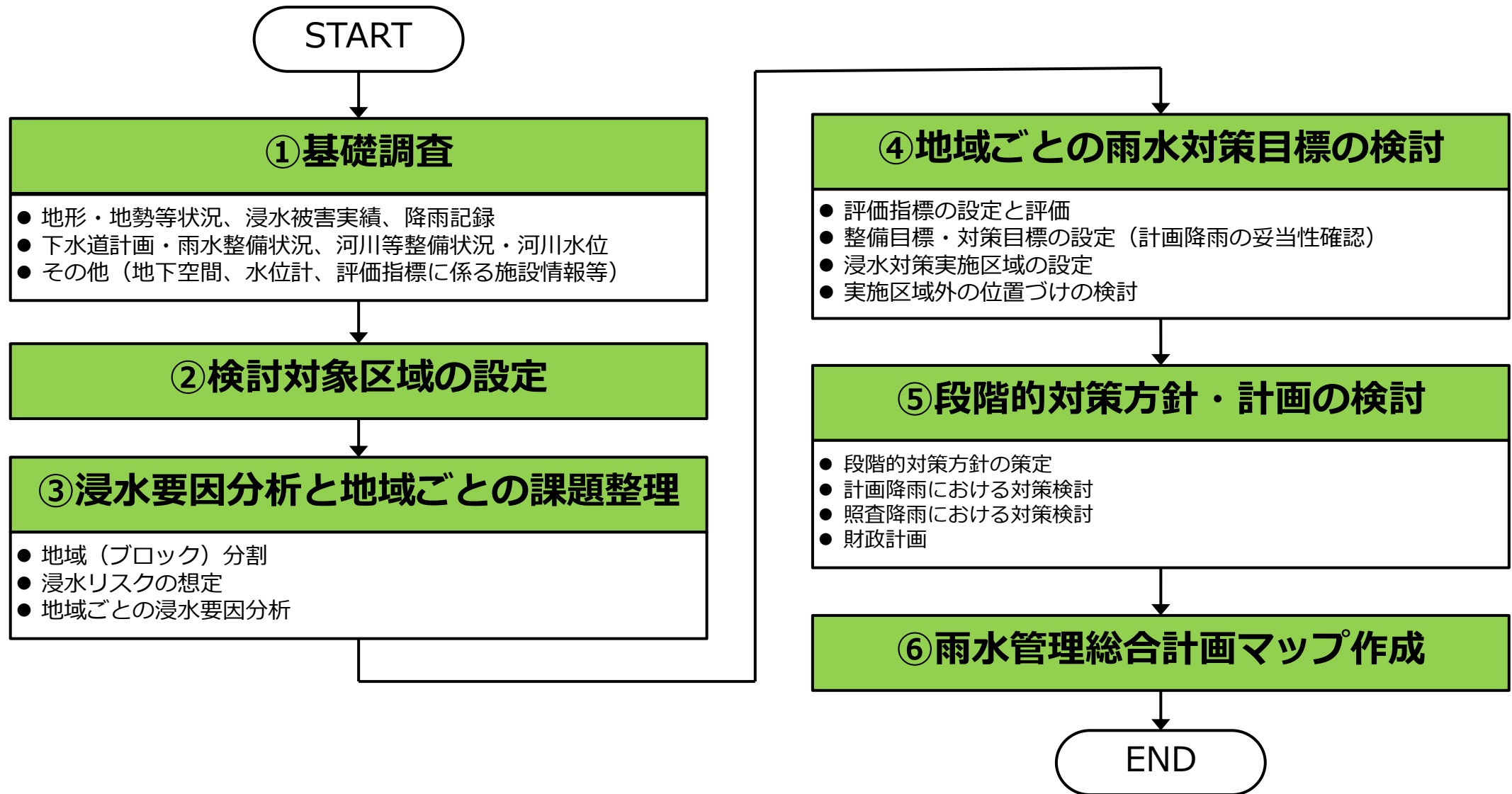


出典：雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）、平成 29 年 7 月、国土交通省水管理・国土保全局下水道部

1. 背景と目的

- **令和3年度**：本町において「雨水管理総合計画」を策定。
- **令和3年度**：「雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）」において気候変動により将来の降雨量が増加することを考慮し、整備が完了した区域も含めて降雨量の増大に対応できるよう、事前防災の考え方に基づいた整備の必要性が追記。
 - **本町においても計画降雨の妥当性を確認する必要。**
 - **「雨水管理総合計画」の策定から約5 年が経過し、当初計画から社会情勢や河川 道路整備等、その他事業の進捗状況が変化しているため、中長期対策の妥当性確認が必要。**
- **令和7年度**：気候変動による影響、雨水管理総合計画の進捗状況、時間経過に伴う社会情勢の変化等を確認し、雨水管理総合計画の見直しを実施。

2. 計画作成のながれ

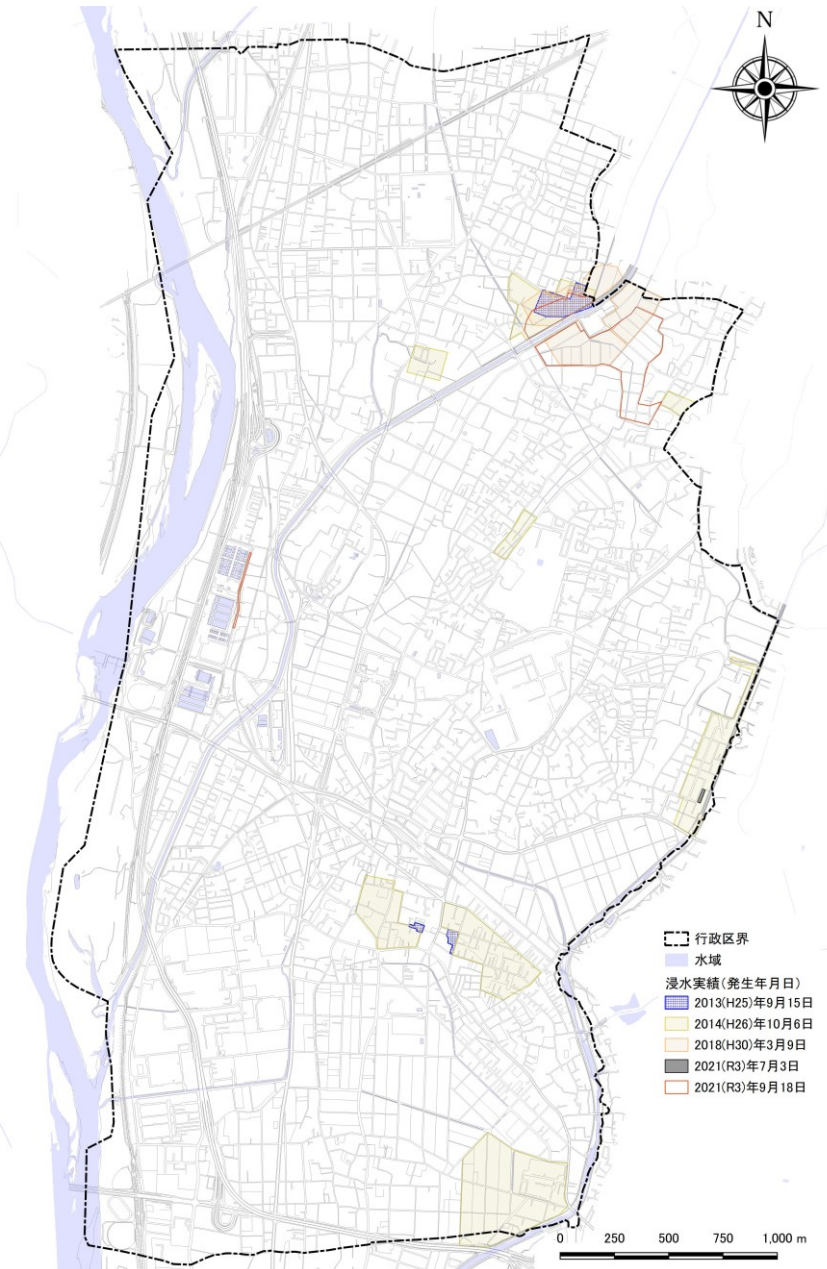
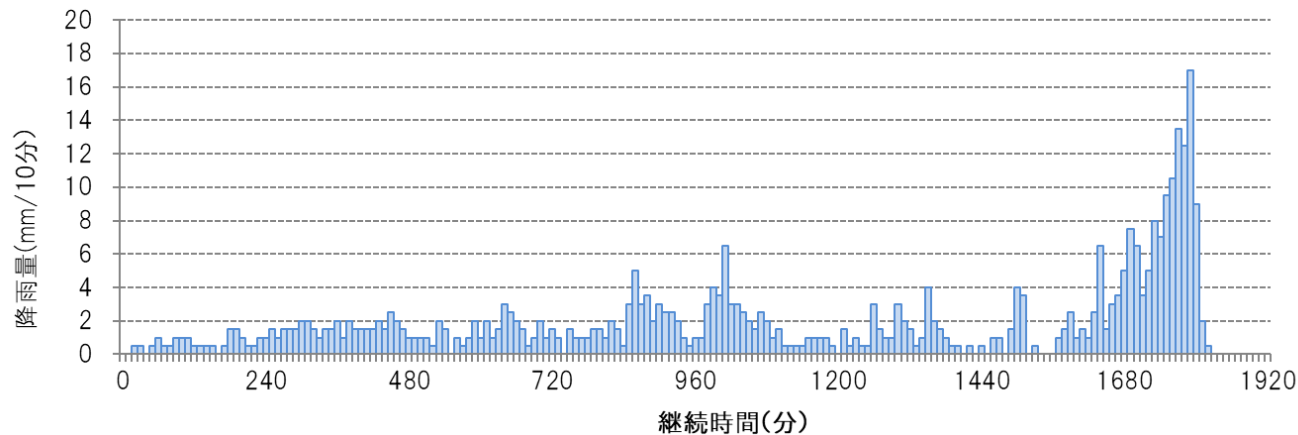


3. 基礎調査

最近（平成25年～令和6年）の 浸水実績と降雨状況

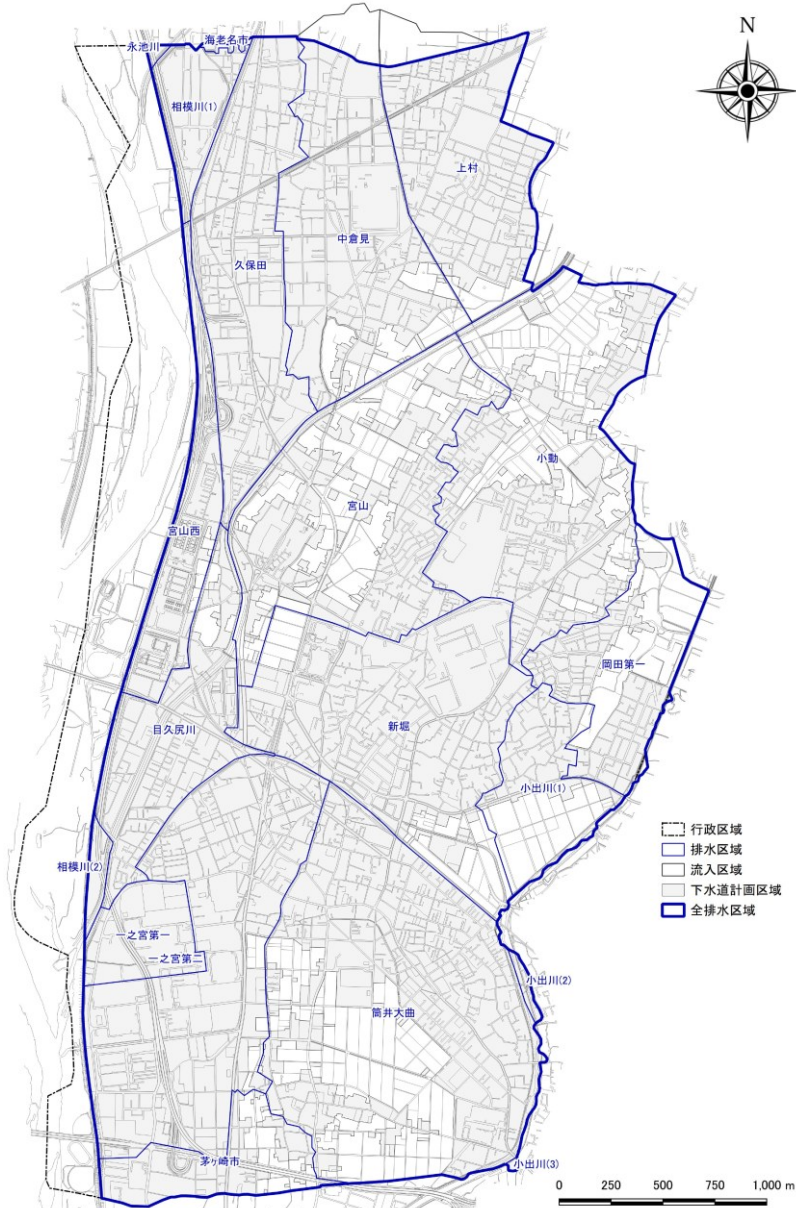
番号	発生年月日				被害建物棟数		降雨状況(平塚)			
	年		月	日	床下	床上	総雨量 (mm)	継続時間 (分)	10分最大 (mm)	60分最大 (mm)
1	2013	(平成25)	9	15	36	3	172.5	430	13.0	52.5
2	2014	(平成26)	10	6	88	18	353.5	1,810	15.5	70.5
3	2016	(平成28)	8	22	1	0	135.0	690	9.0	37.5
4	2018	(平成30)	3	9	4	0	181.5	1,220	11.0	52.0
5	2021	(令和3)	7	3	5	1	284.5	2,650	10.5	34.5
6	2021	(令和3)	9	18	1	0	152.0	1,750	14.0	44.0

平成26年10月6日のハイトグラフ

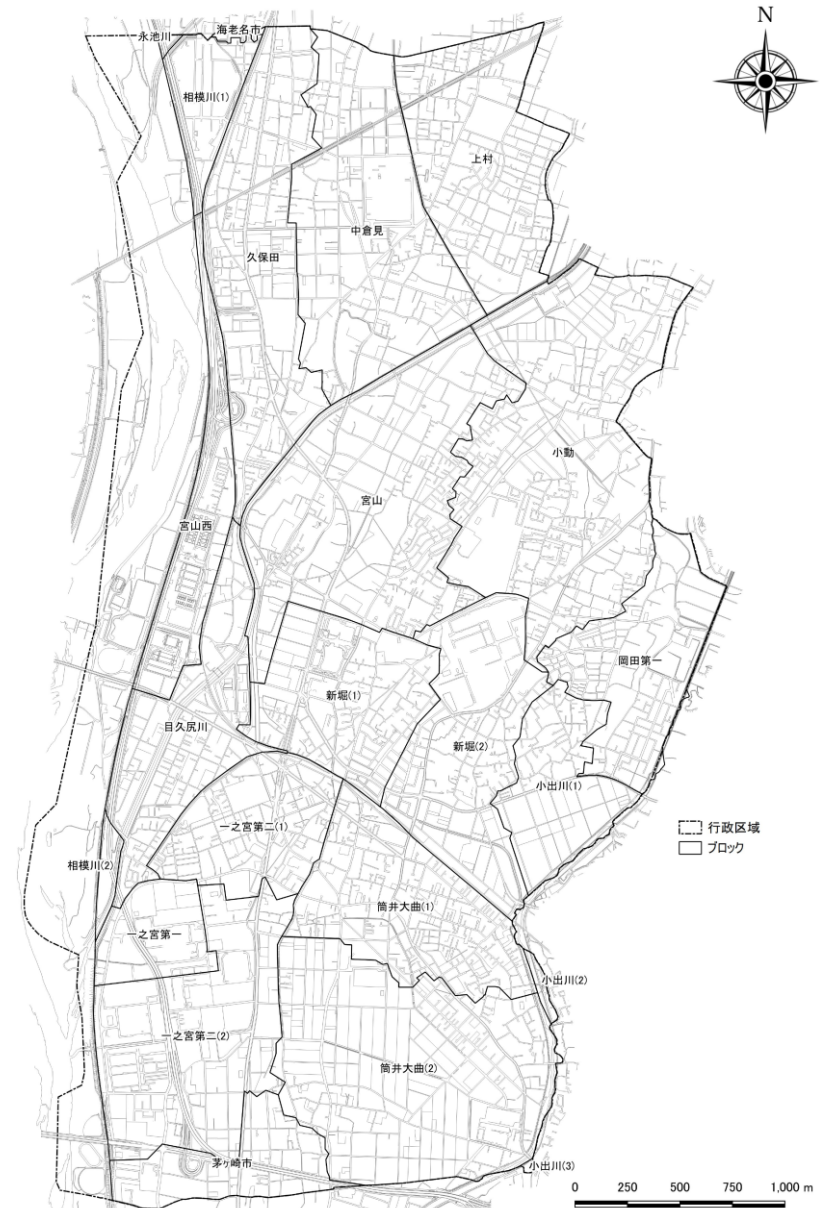


4. 検討対象区域の設定

検討対象区域の設定



ブロック分割

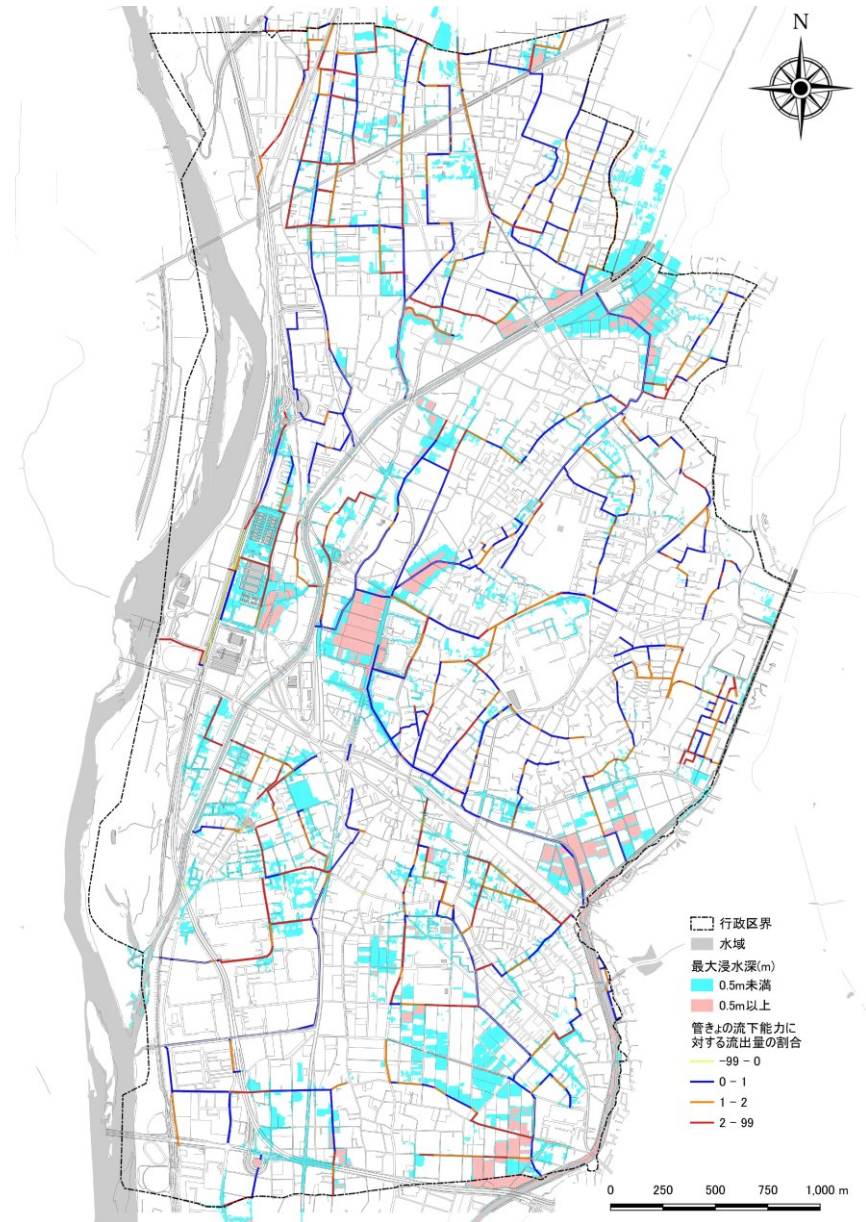


5. 浸水要因分析と地域ごとの課題整理

流出解析モデルの構築

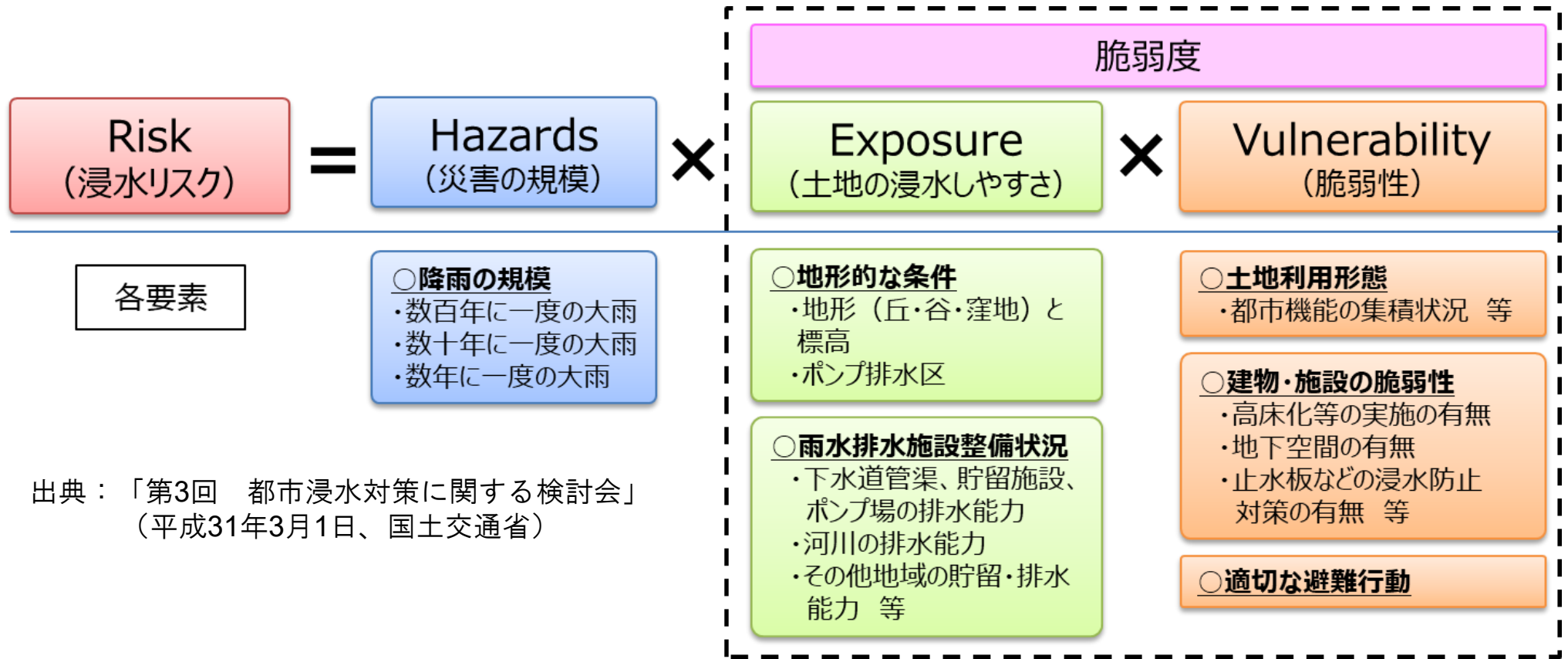


既往最大降雨時の浸水想定



6. 地域ごとの雨水対策目標の検討

評価指標の設定



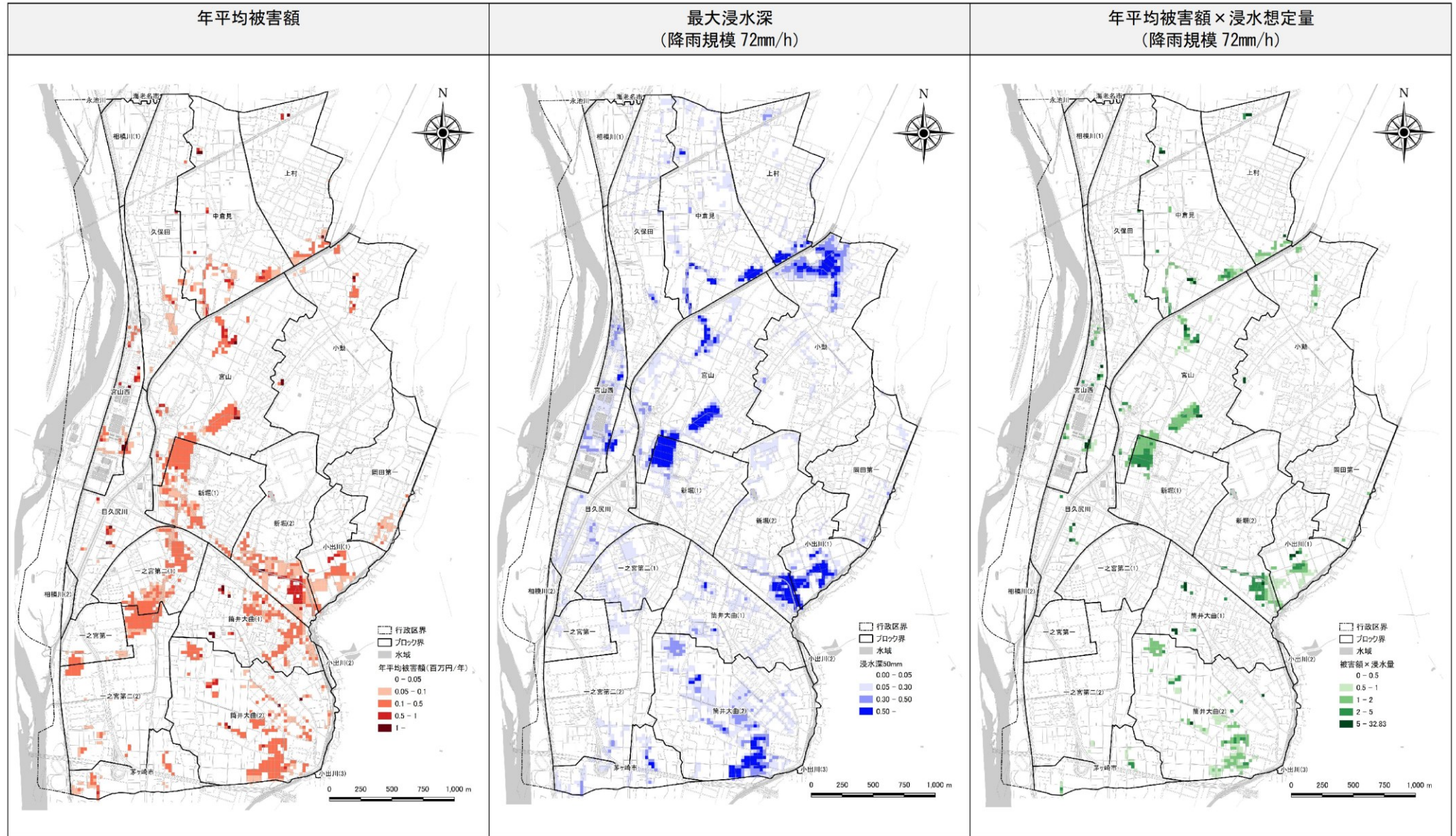
出典：「第3回 都市浸水対策に関する検討会」
（平成31年3月1日、国土交通省）



項目	指標（採用）
災害の規模	既往最大降雨（30年に一度の大雨）
土地の浸水しやすさ	浸水想定量
脆弱性	年平均被害額（被害の起こりやすさ）

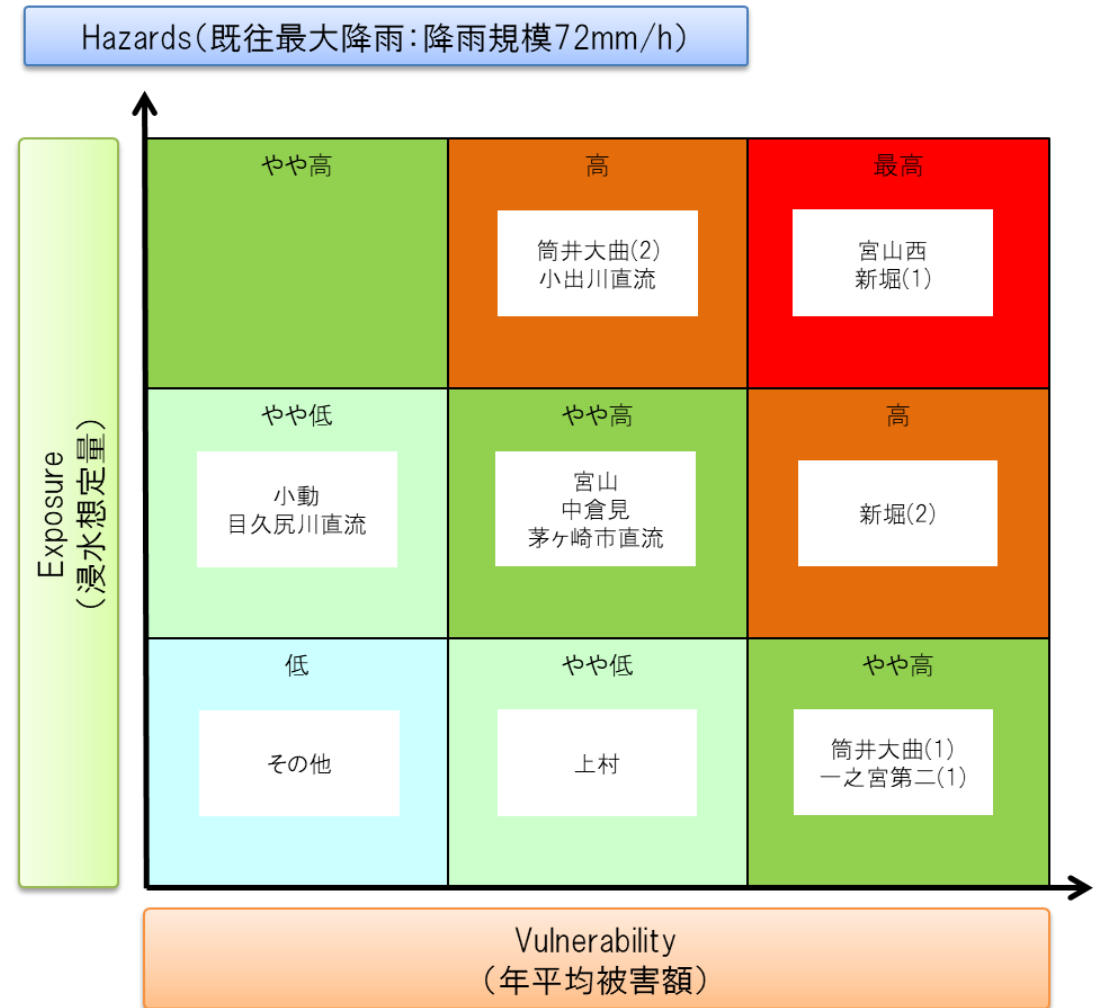
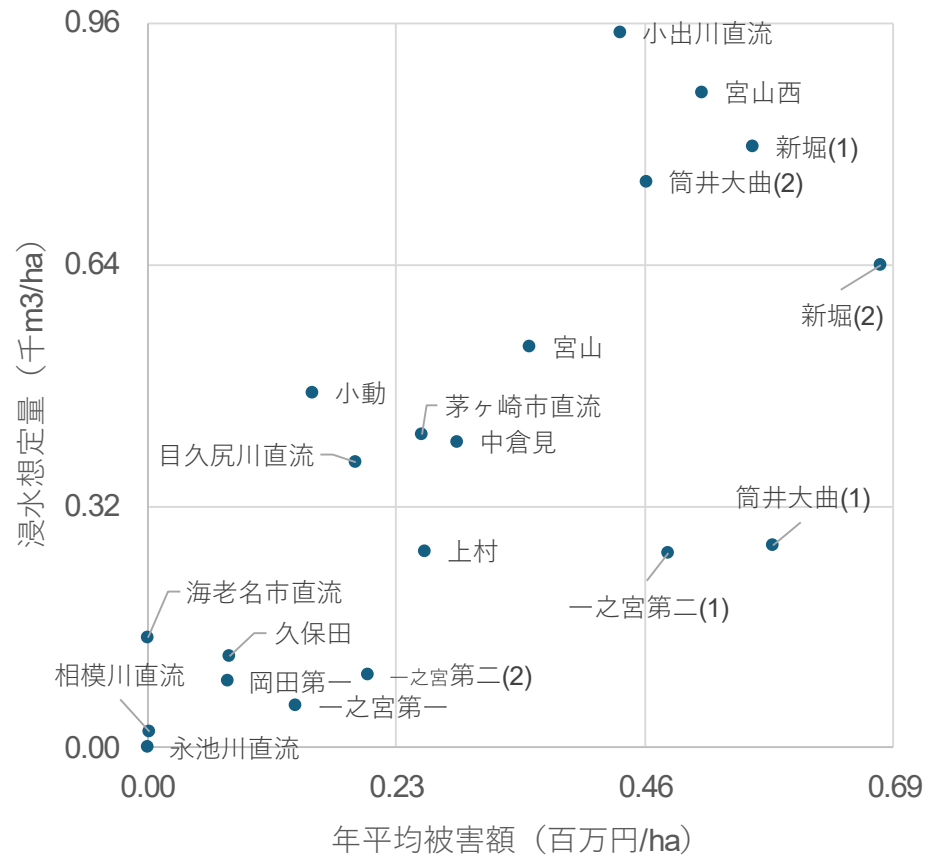
6. 地域ごとの雨水対策目標の検討

年平均被害額と浸水想定量の分布状況（5mメッシュ単位）



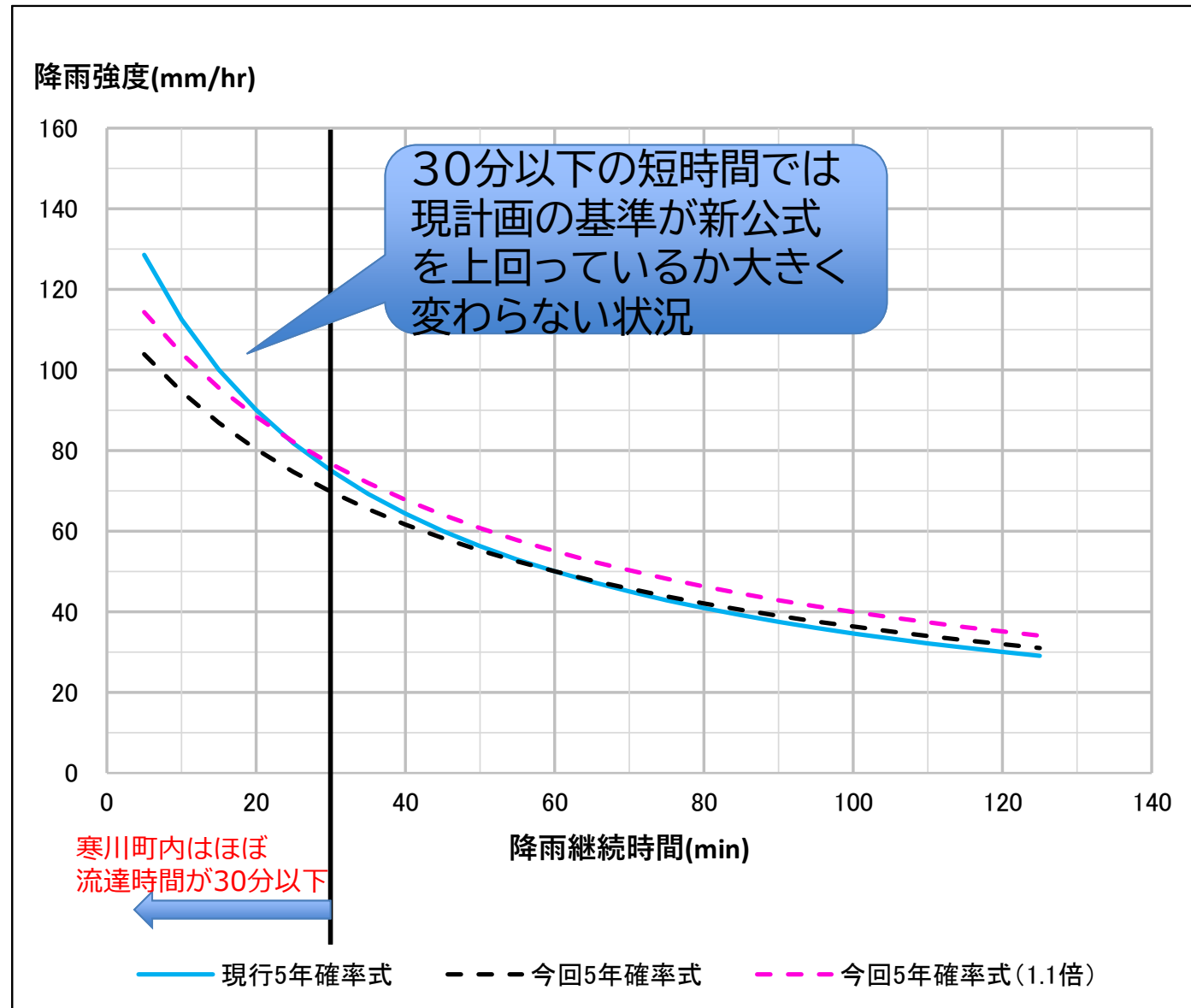
6. 地域ごとの雨水対策目標の検討

浸水リスクマトリックス



6. 地域ごとの雨水対策目標の検討

気候変動の影響を踏まえた計画降雨の妥当性確認



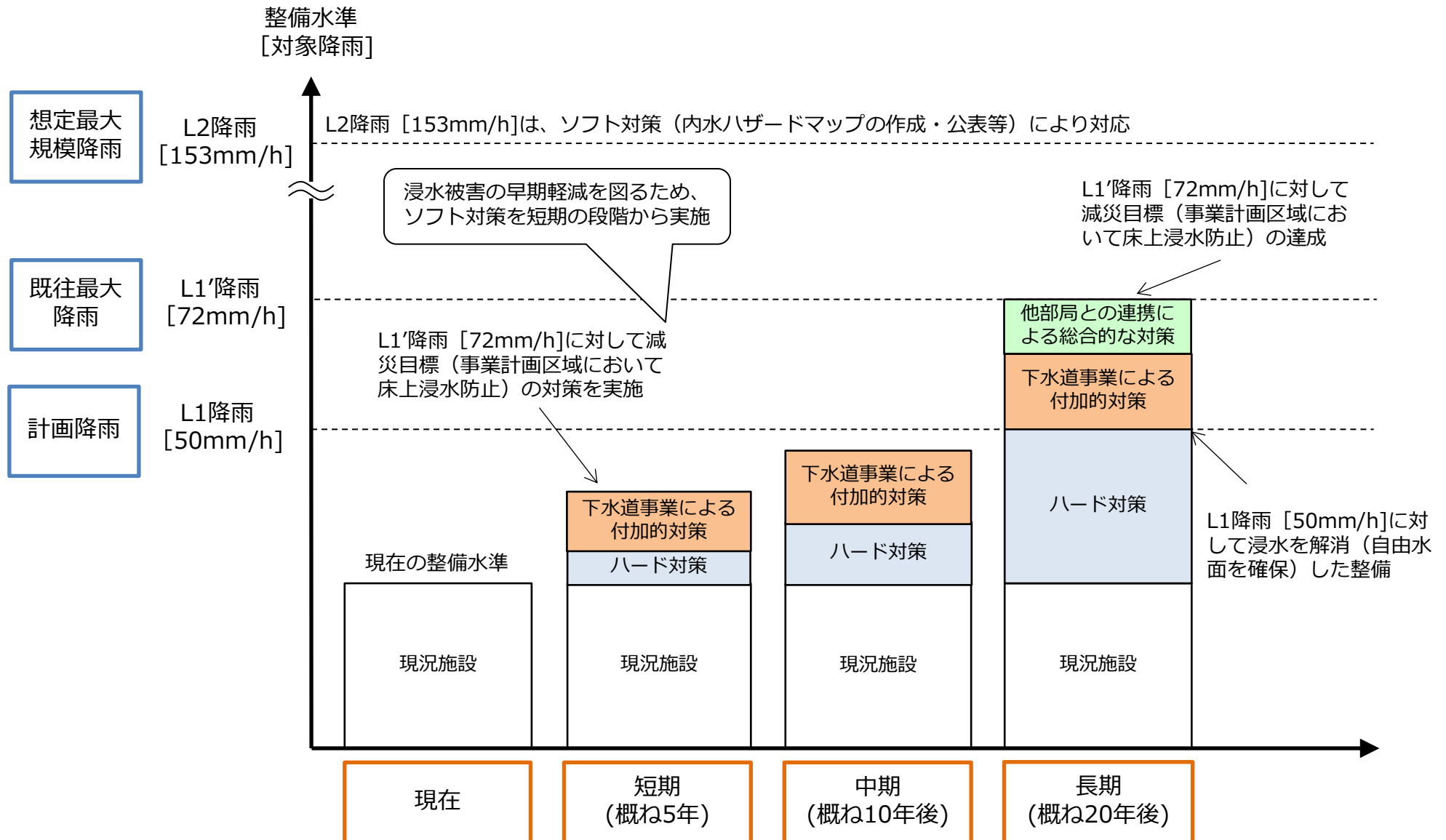
7. 段階的対策方針・計画の検討

段階的対策方針

項目	内容
整備目標	● 下水道計画の確率降雨年を一律5年（50mm/h）としたハード対策による浸水抑止を基本とする。
対策目標	● 照査降雨は、既往最大降雨（72mm/h、平成26年10月6日の降雨）とする。 ● 目標は、床上浸水の防除とする。 ● 対策は、浸水深0.5m（床上浸水相当）以上となる箇所について、ハード対策として優先的に事業計画の枝線整備を推進し、足りない箇所については、既存ストックを最大限活用した下水道整備を実施する。ソフト対策として止水板や流出抑制施設の助成等の推進、内水ハザードマップ等の作成・公表、宅地のかさ上げ・ピロティ建築の推奨等を実施する（内水ハザードマップは作成済み）。
浸水対策実施区域	● 下水道計画区域全域を対象に目標に応じた対策を実施する。
実施区域外	● ハード対策は他部局が管理する既存水路等で対応する（既存水路を活用した対策を相互が協力する）ことを基本とし、ソフト対策として河床の掘り下げを河川管理者に要請するなど、他部局と連携した対策とする。

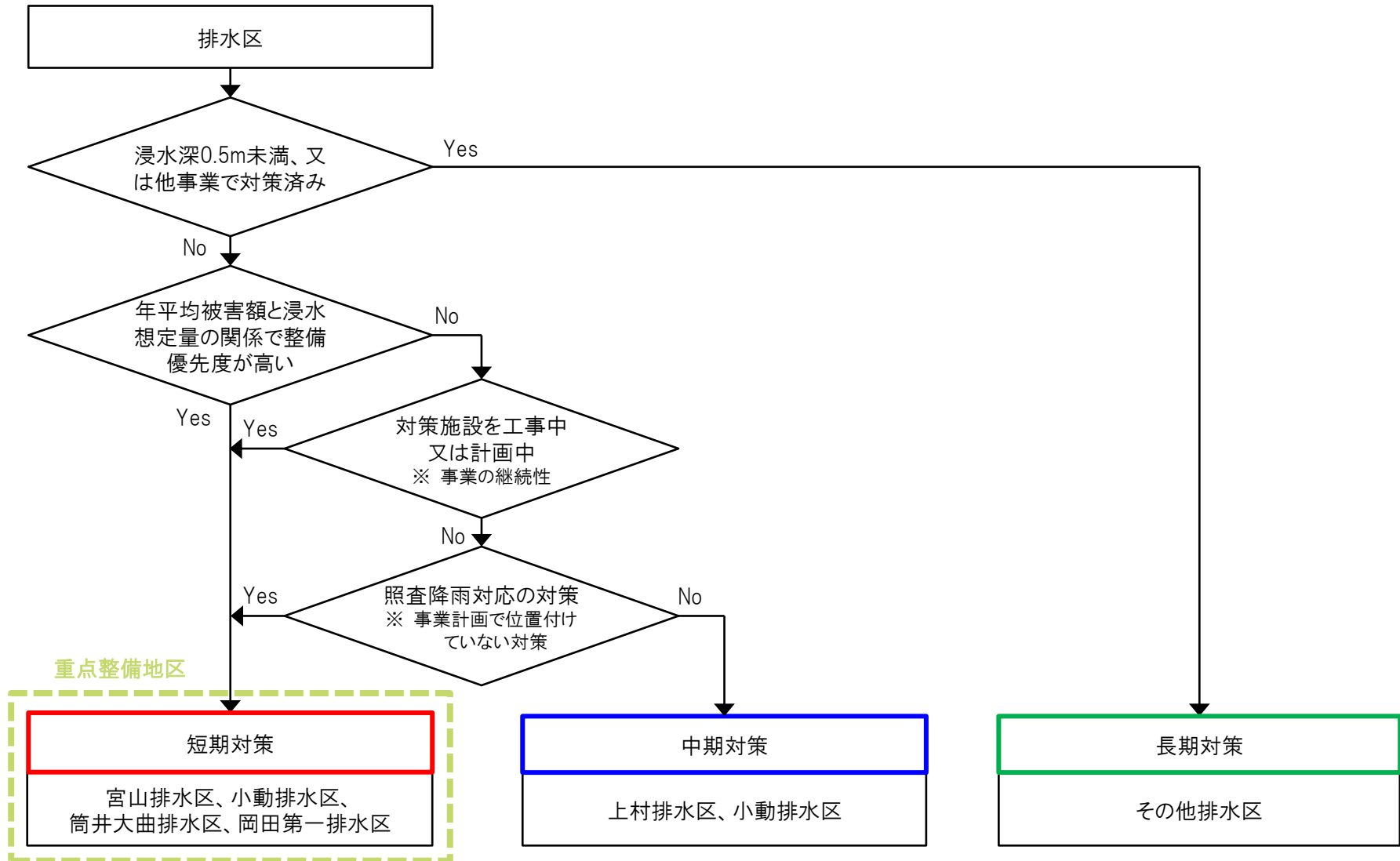
7. 段階的対策方針・計画の検討

段階的整備計画



7. 段階的対策方針・計画の検討

対策時期と重点整備地区の設定



8. 雨水管理総合計画マップ作成

財政計画及び 雨水管理総合計画マップ

排水区名	対策内容		事業費(百万円)			
	延長(m)	種別	短期	中期	長期	
中倉見	□1000×800～ □1600×1000	358.00	計画降雨	—	—	117
上村	U800×800	126.00	照査降雨	—	35	—
	貯留施設 2900m ³	—	計画降雨	—	387	—
宮山	フラップゲート	—	照査降雨	69	—	—
小動	○550～○1100	235.92	計画降雨	134	—	—
	U700×700～ U1200×1100	157.00	照査降雨	—	56	—
新堀	水門等の検討 対策により費用が変動する ため事業費は未定	—	照査降雨	—	—	—
筒井大曲	U300×300～ U400×500	250.38	計画降雨	53	—	—
岡田第一	○1650	134.75	計画降雨	86	200	143
	吐口	—	計画降雨	92	—	—
合 計	—	1,262.05	—	341	677	259

事業費累計		
短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)
3.4億	10.2億	12.8億
27%	80%	100%

